

旧本郷一小跡地（仮称）ほんごうパーク管理運営検討会（第2回）

日 時：2025 年 6 月 11 日（水）18：30～

場 所：本郷生涯学習センター研修室 A

参加者：9 名

事務局（町、コンサル）：4 名

1. 任意団体の立ち上げに向けて

（参加者意見）

- ・任意団体についてより認識を深める必要がある。
- ・イベント運営と並行して、事例等の勉強会を重ねていったほうが良い。
- ・任意団体の具体的なイメージが分からないので、より具体的な事例情報が欲しい。

（事務局）

- ・先行事例から本郷に近い事例を取り上げたい。夏以降、具体的に勉強を進めていく。
- ・パークファンとして具体的にどういう団体にしたいのか、具体的な検討が必要。
事例等を示しながら勉強会を行いたい。

（参加者意見）

- ・「クラブ衆」のような身近にある NPO 法人との意見交換は有効。
そのような取り組みを行う意思是事務局としてあるのか。
具体的なイメージを皆さんでつかむ取り組みが必要。

（事務局）

- ・「クラブ衆」との勉強会も事務局として検討しているが、具体的には未定。

2. 水遊び企画について

（コアメンバーより企画要点説明）

- ・今回、事務局の人員が少ない（選挙のため）ので、手伝えそうな方がいればぜひ声掛けしてほしい。
- ・マルシェと同時開催のため昨年の水遊びより多くの参加を想定して準備した方が良い。
- ・大きなプールは昨年貸してくれた方が今年も貸してくれることになっている。
- ・プレハブ前デッキの補修に使った残りの木材で、小さい子ども向けのプールを作ること考えている。

- プールを持ってきて頂けるよう、みなさんからも周知してほしい。
今回は当日持ってきて頂くようにする予定。
- 竹の水鉄砲ワークショップ（会津自然楽校）も予定している。
- 前回同様、前日午後から準備をし、当日は朝から準備、運営。
テントやブルーシートの設置に人手がいるので、みなさんにぜひ手伝って頂きたい。
- 軽トラをお持ちの方は搬出入でご協力頂きたい。
- 前回休憩スペースが少なかったため、今回は増やす予定。

（参加者意見→コアメンバー応答）

- 芝生に巻く散水ホースも良いのではないかと。色々な種類があり、長く連結もできる。
→簡易なものを設置することを考えている。
お薦め情報があれば LINE に流してほしい。
- 水は足りるのか。
→プールには前日に水をためる予定。
ブルーシートをかけてごみが入らないようにする。
→前回も蛇口は3個中2個のみ使っていたので、残り1個で噴水ができると思われる。
- 去年はすべり台ですいぶん楽しんでいたが、今年もあるのか。
→今年もやる予定。
- 噴水は下からだけか、上からは出ないのか。
台数はどのくらいか。
→テントに這わせれば、上から水をまくこともできる。
→予算の都合もあるので、3-4基程度の設置になると思われる。
今回購入したものは公園ができた後も備品として活用できるだろう。
→ミストタイプは、子どもの遊び用としてよりは、熱中症対策としてあった方が良い。
整備計画の大屋根空間にミスト設備があった方が良いかどうか等の検証にもなる。
- 大人の着替え場はどうするのか。
→プレハブ内にカーテンで間仕切りし、着替えられるようにする。
プレハブ内は休憩スペースも兼ねるので、着替えスペースはひとり用くらい。
→前回はほとんどの方が着替えて来てくれた。
今回は小さいお子さんの着替える場所を想定して設けることにした。
- マルシェの方はどのような内容か。
→調整中だが20店舗くらいを想定している。
→昨年11月はワークショップが多かったので、その時とは配置やイメージが異なるが、プールや休憩所に加え、少しワークショップブースもある。
→当日でもやりたいことがある方はやって頂ければと思う。

(事務局)

- 今回のイベントで、水道利用量も確認し、じゃぶじゃぶ池を運営する際に、どのくらいのコストが生じるのかを把握したい。
- その結果を踏まえ、水道使用料金や整備費用等を見ながら、HPF の中でもじゃぶじゃぶ池を検証し、その意見を基本設計に反映することになる。

3. 日常利用の見守り活動について

(コアメンバーより企画要点説明)

- 遊び道具の貸し出し管理を行うイメージ。
- 今月末までにエアコン付きのプレハブを再設置するので、7 月から使用できる。
- 鍵はコアメンバーのうち 1 名に預かって頂き貸し借りする。
- 当番の決め方は、月に 1 回程度集まって決めるのが分かりやすいが、どうだろうか。
例えば今日は 9 名いるが、月に 1 回ずつ担当すれば、週 2 回開けることができる。
夏休みは頻度をあげた方が良い。

(参加者意見→コアメンバー応答)

- 夏休みは午前中から開けても良いだろう。
午後は暑いから午前中の方が良いかもしれない。
→夏休み期間は 10-12 時で固定することとしたい。
→7/21 以降で見守りができる日があれば、LINE で流してほしい。
→見守り活動について、7/20 の時に周知して頂けると良い。

(参加者意見)

- このような活動をずっと跡地でやりたいと思っていた。
- 子どもが実際どれほど来るのかわからないが、2 人 3 人でも来るのであれば、ぜひやりたい。最初は少数でも活動を始めることで、輪が広がればいい。
- 自分が当番の日は友達も誘って一緒にできると良い。

(事務局)

- どこにカレンダーを貼るか、誰が貼りに行くのか。

(参加者意見)

- 本郷学園や幼稚園、プレハブか。

(事務局)

- 最初は事務局が趣旨を説明しがてらカレンダーを持っていくのが良さそうだ。

(コアメンバー)

- ・7月打合せでは、カレンダーが完成されている必要はなく、確認としてカレンダー案をお示しすることになる。
- ・次回以降はみなさんで分担して貼りに行く。

(事務局)

- ・周知については、7月の回覧のタイミングでもちらしを回覧できればと思う。

(コアメンバー)

- ・西陵高校生は参加する可能性はあるか。

(事務局)

- ・探求学習で子どもをテーマにしている生徒がいるので、近日学校と相談予定。

(コアメンバー)

- ・遊び道具手配の役割も決める必要がある。
不要な道具をお持ちの方はぜひ持ち寄ってほしい。
- ・予算もとってあるが、不要なものが集まればそれでも良いと思う。
- ・様子を見ながら、購入するかどうか検討したい。

(参加者意見)

- ・緊急時の連絡先として、当日必ずつながる連絡先を設けたほうがいい。
緊急時の連絡先や対応方法を示したマニュアル。
高校生が対応する場合は特に心配。

(事務局)

- ・緊急連絡先として、プレハブ内に張り紙等で明示する等に対応する。

(事務局)

- ・緊急時は事務局が対応できる体制を整えたい。

(事務局)

- ・見守りに合わせてWS等の企画がある場合は、一度会議の場あるいは事務局へ相談して頂いてから実施するようにお願いしたい。

●責任の所在について

(参加者意見)

- ・擦り傷などではなく、大きな怪我や事故があった際に、どのように対処していくのか。
- ・他の運営組織の例なども参考にしたい。事例を基に研究を進めていく必要がある。
- ・管理責任の明確化は必要。責任の所在はどこにあるのか。

- ・運営側での怪我というリスクも同時に考える必要がある。

(事務局)

- ・主催を町にしているのは、HPFが現状では責任を取れる体制ではないため。
責任の所在は今後組織の規模間に応じて考えていく必要がある。
- ・イベント保険に関しては、コムテックでイベント全体にかけている。
プレハブに関しては、コムテックの保険の範囲内。
ただ、見守りの怪我や事故に関して保険を掛けられるかは現状調査中。

(参加者意見)

- ・重大な事故や怪我等が発生した際に、そこに関わった当事者を守る体制を確立することが重要なのではないか。
せっかくの善意が無駄になってしまうことは避けたい。

4. 活動費について

●謝礼について

※事務局より、活動の負担に対するメンバーへの謝礼について提案。

※結論としては、WS 講師等謝礼は支払う。

それ以外のメンバーの負担への謝礼は今後の検討課題。

(参加者意見)

- ・ボランティア要員として、友人を呼んだ際の謝礼はどうするのか。
謝礼があることで、気軽に友人を誘うことが難しいように感じる。
- ・謝礼があることで、重いものを感じる。
謝礼の裏には、事故や怪我等での責任が生じるという重さと表裏一体のように感じる。
- ・資金回収ができる管理運営法人のような仕組みであるなら、謝礼もよいと思う。
しかし、現状の段階（リーダーをこれから決める段階）で謝礼をいただくのはちょっと違う気もしている。
- ・謝礼の有無ではなく、見守りするにあたり責任は発生するものである。

(事務局)

- ・事務局としては、純粹に皆さんの頑張っている活動に対しての感謝として謝礼を支払いたいと考えた。
頂く側の皆さんが謝礼の有無をどう捉えているかお聞きしたい。

(参加者意見)

- ・現状、体制が定まっていないのだから謝礼はなしでもいいのではないか。
- ・方針が定まり、最終的に謝礼をいただく方針になるのであれば、その際にいただくのは良いとも感じている。

(事務局)

- 昨年度とは異なり本年度は運営主体が、当団体になる。
そこで現在の運営者には、急に大きな負担が生じることに對しての謝礼を支払いたいと考えているがいかがか。

(参加者意見)

- 賛成。
例えばチラシ作成等に生じた費用は払う必要がある。
見守り活動への謝礼については今後の検討課題だが、人件費という枠は何かしら必要になると考えられるので、確保しておくのが良い。
- 見守り活動については謝礼なしの方向とし、その他ここにいるメンバーの負担に對しての謝礼についても体制が整ってからの検討課題なので、ここでは決められないが、イベント実施にあたって必要な謝礼（WS 講師等）は支払うかどうかについては、この場で決めて良いことだと思う。

(参加者意見)

- それも含めて、事務局がやっていたことを他の方が担うので、それに対する謝礼として事務局が支払えば良いのではないか。

(参加者意見)

- 今回、事務局から直接ではなくて、お財布を HPF 側が持ち、メンバーが会計を担うことになったので、参加している皆さんに意見を伺ったという趣旨だと思う。

(参加者意見)

- 必要なものに支払うことに異論はない。

(参加者意見)

- もらわない場合も話し合いをした方が良いのではないか。
今日全員参加しているわけではない。それをどう決定するか体制が整っていない。

(参加者意見)

- ここで最終決定ということではないと思う。
ただ、今後持続可能に活動していくには、どこかで決める必要があることかもしれないので、どう決めていくかは検討が必要。

(参加者意見)

- 現在の状態であれば、この会の外で決められた方が良いのではないか。

(参加者意見)

- 謝礼をもらわないで関わりたい方と、作業量的に支払った方が良い方がいると思うので、その線引きや役割をつめていく会議が、水遊びが終わった段階の 8 月以降出てくるのではないか。
そのスケジュールや進め方はよく検討する必要はあるが、あまり先延ばしもできないので、水遊びが終わったら、頭を切り替えて議論を始める必要がある。

●検討体制について

(参加者意見)

- 最終的な組織の方向性として、この団体は施設の管理運営法人を目指すのか、それとは違う形（ボランティア活動等が中心）を目指すのか。
どのような組織を目指しているのかの方向性が定まっていない気がする。
メンバーの意識がバラバラのため、ここはすり合わせを行いたい。

(事務局)

- A：報酬を受け、仕事として管理運営を担う場合、あるいは、B：ボランティア活動を中心として居場所づくりを行う場合、がある。
運営主体 A の下、B の活動をする場合もある。
現在は A と B の両輪での活動を行っている。
- 今後団体として、どのような方向を目指していくかを話し合えればと思う。
- 本日はイベント準備を先行する必要がある体制づくりについて詰めることができない。

(参加者意見)

- そのような活動方針はどこで決めるのか。
ここでの話し合いか。それとも役場なのか。
活動方針等は今話あっている検討会などの話し合える場所で決めたい。
役場等の閉鎖的な場で話し合いを経ずに決まってしまうのは不安。

(参加者意見)

- どの点にお金が生じるのか、何が必要なのかを自分たちで検討しなくてはいけない。
敷かれたレールに乗っかっているだけでは、組織としての運営力は育たない。
今後組織として、資金運営・保険対応等をどのように対応するかは自分たちでも考えていかなくてはならないが、なかなか難しそうなので、もう少し時間をかけて組織づくりについて皆で勉強していく必要がある。

(事務局)

- 次のステップとして、今回のイベント運営や見守り活動、事例研究を通じて、団体としてどのように運営を行っていくのか、どのような団体にするのかを皆さんで考える必要がある。

(参加者意見)

- 団体として、どのような方向性で進んでいくのかの決定プロセスが不透明。
運営メンバーの中の、どのくらいの方の賛同を得ることで話が進むのか、などのプロセスが曖昧に感じる。

重要な決定等をする際に、どのように進めるのか、最後の詰めが心配。

- ・現状規約等が何もない段階で、構成メンバーや決定方法等の具体的な枠組みが不透明であるため、最終的に何がどのように、どこで決められるのかが分からない。

(事務局)

- ・具体的にはイベント後に、具体的なスケジュール等を提示した上で話し合いを進めていきたい。

(参加者意見)

- ・当検討会が最終決定の場合であると位置付けても良いと思う。
- ・事務局の情報提供や意見等に基づいて、話し合いを進めることができている。
この積み重ねを基に話し合いが進められている過程は重要。
当検討会の延長線上に、運営の組織化等が進められるとしたら非常に有意義である。
- ・他のプロセスや話し合いで方針が決定するではないか、という不安はそこまで抱かなくていいのではないか。

(参加者意見)

- ・謝礼や決定プロセス等の細かい色々な問題を解決するために、早く団体を立ち上げたほうがいいのではないか。
- ・会を立ち上げる話を自分たちの事柄として、話を進めていく。
会を通じて、いろいろな問題を解決していくのが大事なのではないか。

5. 駐車場について

(参加者意見)

- ・今後の議題として町への提案である。
公園をイベント時に駐車場として活用できるようにしてほしい。
通常は公園として、イベント時は駐車場として活用できる場所が一部公園内にあって
も良いのではないか。
- ・5月の向井羽黒のイベントでは、来場者から跡地を駐車場として利用したいとの声が出
ている。ただ、雨天時の利用の場合は、整地費用の負担が観光協会に求められ、結局使
用しなかった。
また、マルシェもこれまで駐車場として利用できなかった。
- ・これまで我々は来場者の視点での検討をしてこなかった。
町民も来場者も喜ぶ公園の姿を目指すのが良いのではないか。
他のイベントのことも踏まえ、イベント時に駐車場として活用できる範囲をもう一度
検討できないか。
- ・町の四大イベントであるのに、駐車場として利用できなかったことが納得できない。

(事務局)

- あらためて検討したい。

ただ、既に整備計画でも、イベント時に駐車場にする部分は定めている。

(参加者意見)

- それについて、どれくらいの台数が必要か、あらためて計算し検討する余地があるのではないか。

(事務局)

- 現状、遊び場として利用していることから、雨の際には駐車場利用によりぐちゃぐちゃになる可能性があるため、整地が必要になる点をご理解をいただきたい。

6. その他

- 次回は、7月15日(火) 18:30～、コバコにて開催する。
内容は見守り活動の日程等の確認と、水遊びの直前確認の予定。
- 見守りの参加できる日を LINE に投稿してほしい。

以上